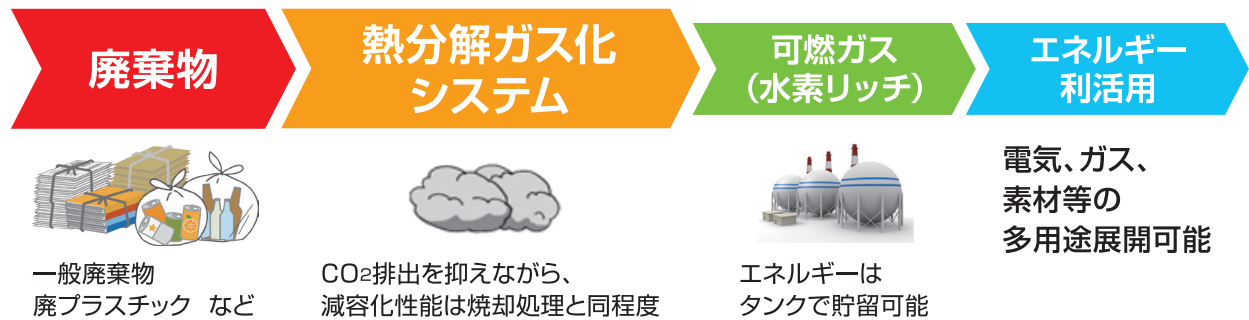


燃やさない新しいごみ処理技術の開発 次世代型廃棄物処理システム（ポストコンバッション）

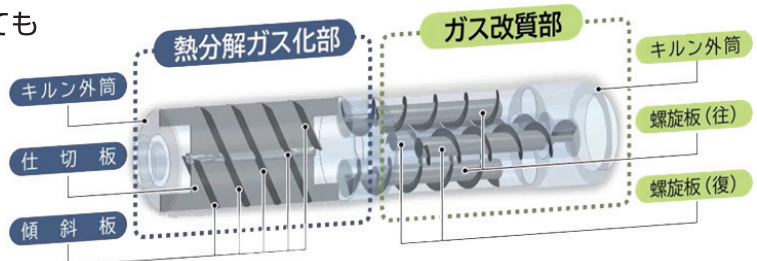
新たな熱分解ガス化技術により廃棄物から可燃ガスを

日立造船のポストコンバッションとは、焼却処理に代わる新たな廃棄物処理システムで、ごみを高温の無酸素状態で攪拌することにより、廃棄物中の可燃物を可燃ガスに変換します。



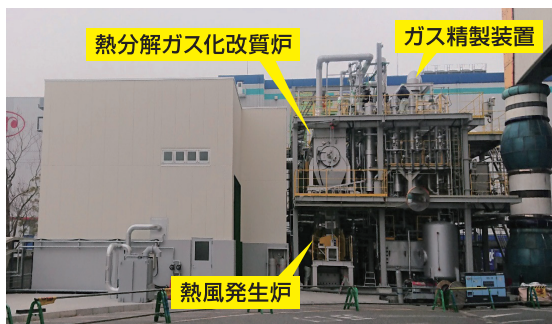
熱分解ガス化改質炉（ロータリーキルン）の内部構造

- 独自構造により、「機械式横型内部循環流動床」としての機能を保有します。
- キルン内部に「熱分解ガス化部」と「ガス改質部」を包含します。
- 内部保有熱量が大きく、ごみ質が変動しても熱分解温度（内部温度）の変動が小さい構造です。
- 熱分解ガス化技術は炭化技術でもあり、将来のCO₂削減（炭素固定）にも貢献することが可能です。



環境省 地域共創・セクター横断型カーボンニュートラル技術開発・実証事業

環境省の委託事業として、大阪広域環境施設組合舞洲工場内に設置した実証試験プラントで、実際の一般廃棄物を用いて熱分解ガス化改質システムの技術開発実証（令和2～5年度）を行っています。



大阪市内の実証試験プラント（2t/d）



実証試験用の熱分解ガス化改質炉本体